

オカムラからのご提案

森林環境譲与税を 活用したまちづくり

森林環境譲与税の使途



オカムラは、国産材、地域材を活用した空間や製品づくり、ACORN活動の
普及啓蒙プログラムを通じて、多角的に森林保全を推進しています。



森林環境譲与税とは

パリ協定の枠組みの下における、わが国の温室効果ガス排出目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な
地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が平成31年3月に成立・公布されました。

使途は市町村の間伐・人材育成や担い手の確保・木材利用の促進や、普及啓発等の森林整備及び その促進に関する費用
として、そして都道府県は市町村の支援等に関する費用として充ててことになります。

森林環境譲与税の活用は広く国民全体に対して説明責任を果たすことが求められていますので、使途をインターネットで公表
する必要があります。

【森林環境税】

個人住民税と合わせ徴収する全国民に課する国税で、ひとり年額1,000円を令和6年から都道府県を経由し徴収されます。

【森林環境譲与税】

払いこまれた森林環境税は市町村と都道府県に森林環境譲与税として按分されます。

詳細はこちら https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyousei.html



自然共生と生物多様性に向けたアクション『ACORN』



オカムラのACORN活動は企業の枠を超えて繋がりを広げてきました。国産材活用の一環として地域の方々とコラボレーションをしながら、それらの活動を広く認知してもらう映像や冊子、イベントも企画・制作し、国産材・地域材を通じた地域創生のお手伝いをしています。その活動の一部をご紹介します。



オカムラグループは、「環境」を企業経営における重要なテーマとして位置づけています。
ACORN活動はSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の上記7項目の目標達成に貢献していきます。

4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナリシップで目標を達成しよう



人々の絆を高める活動



【東日本大震災 被災地での“森の学校づくり”】
2012年にC.W.ニコル・アフンの森財団がスタートさせた、アフン震災復興プロジェクトに当社も参加し、被災により統廃合となった小学校を新たに“森の学校”として復興するお手伝いをしました。
教育で復興を果たすと、高台に新しく作る小学校を“森の学校”にすると東松島市とアフンの森財団と協賛する企業ほか関係者により、プロジェクトが推進されました。 校舎が完成する期間中、学校と隣接する“復興の森”を整備し、子供たちへフィールド学習を実施しました。

詳細はこちら
<https://www.okamura.co.jp/magazine/wave/archive/1705mornogakkoA.html>



森やその恵みを体感する活動



【WoodLand WoodWork】
森を知り、木を知り、技を知るをテーマに、その道の専門家をお招きして体感型の木工ワークショップをアフンの森財団の協力のもと実施しています。 プログラムは目的や参加者によって柔軟に構築しています。
長野県信濃町にあるシェアオフィスを活用したり森林セラピーで有名な信州信濃町癒しの森® とのコラボレーションによる滞在型の研修も可能です。
この体験型のプログラムにより、森の恵を感じて、森林保全の重要性や木や木製品の生い立ちや特性を体感できます。



オカムラでは、自然共生と生物多様性に向けたアクションを「ACORN (エイコーン)」と名づけ、積極的に取り組んでいます。 次の種をつなぐために、なくてはならない存在である「どんぐり=ACORN」を活動の象徴としました。

産学官連携した地域活性や木育活動



【山形県小国町、東北芸術工科大学、オカムラ産学官連携プロジェクト】
豊かな森林資源を有する山形県小国町。その森林資源有効活用による町の活性化と、デザイン、ものづくりを通して次の世代へ受け継ぐべく木育で市民へ還元する活動を実施しています。

詳細はこちら
https://www.okamura.co.jp/company/csr/pdf/2019/okamura_csr2019_03.pdf



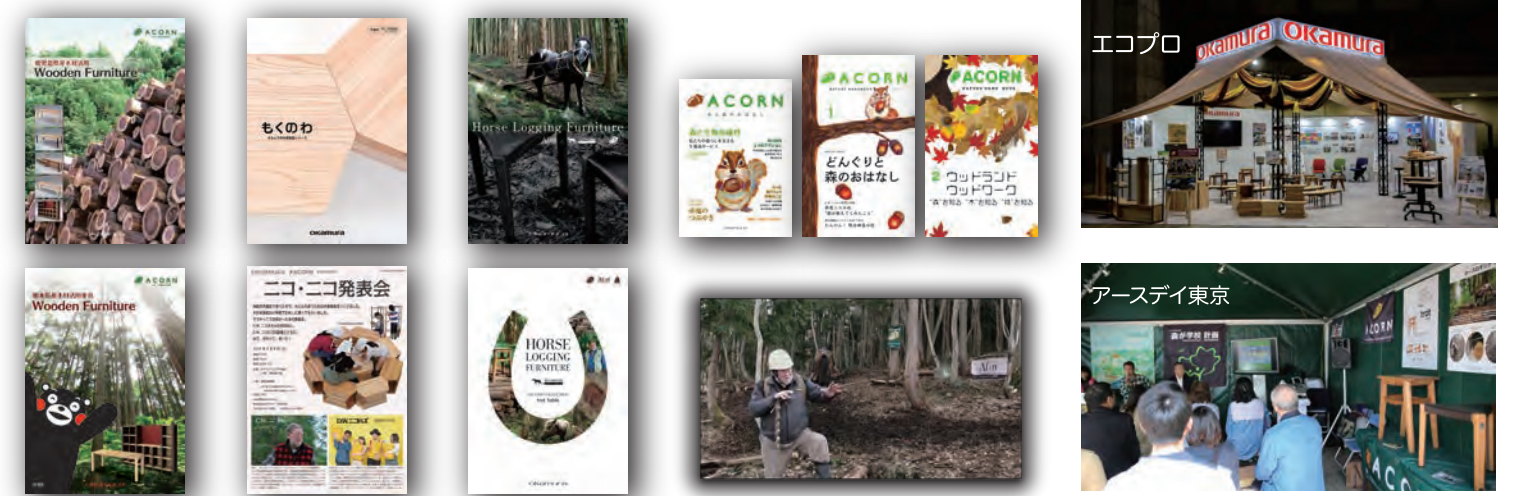
木材を使った木育活動



【FSC天竜材の教育活用】
浜松市とオカムラ、早稲田大学 建築学科 古谷誠章研究室や、地元木材関連企業とのコラボレーションで、木材として歴史のある浜松市の天竜材を活用した木育家具を制作販売しました。 開発にあたっては関係者とアフンの森でワークショップを実施し、また地元企業の材料調達や設計製作協力の他、地元の森の状況を視察したり、小学校で試作品モニターを実施し、地元の方々を招いた完成披露パーティーも行い地域への啓蒙活動も行いました。



活動の広報や発行物、映像など



国産材を活用した空間づくり



長崎県立長崎図書館・大村市立図書館



肥後銀行



あおぞら銀行



株式会社 構造計画研究所



高島町立図書館



設楽町役場



浜松磐田信用金庫



那賀町林業ビジネスセンター



釜石鵜住居復興スタジアム



日華化学株式会社

国産材を活用したプロダクト

製品の詳細はこちらをご覧ください
www.okamura.co.jp/product/japanese_wood_furniture/



国産材専用モデル



HAGi



mo・ku・ri



canteen



moist



もくのわ



LW15スツール・ベンチ



国産材対応モデル



国産材、地域材を活用したオーダーモデル

馬搬復興支援
ホースロギングファニチャー



地域材活用
鹿児島県 桜島ベンチ / 黒豚チェア



未利用木材活用
北海道 とどまつベンチ

